

2007年5月21日

<報道資料>

ピツニーボウズジャパン(株)、グループワン ソフトウェア(株)
請求書、資産運用報告書、保険契約書等のドキュメント発行業務改善ソリューション
「New Document Managing Solution (NDMS)」の共同販売を発表
ー トランザクションメール処理に新しいソリューションを提供 ー

2007年5月21日、郵便関連機械大手の米ピツニーボウズ社の子会社ピツニーボウズ ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、社長:グリーン M ブラシントン)とピツニーボウズ社の関連子会社、グループワン ソフトウェア株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:ラルフ トマーリン)は、請求書、資産運用報告書、保険契約書など重要なドキュメント発行業務を、安全・確実かつ各種規制に準拠したプロセス管理を実現させるソリューション「New Document Managing Solution (NDMS)」を共同で提供すると本日発表しました。

NDMSは、重要ドキュメント発行業務の問題点

- 各プロセスが独立しておりそれぞれの管理・監査の一貫性が無い
- 業務プロセス全体が見えない
- 業務プロセスの柔軟性が乏しい(直前の変更・抜取)
- リアルタイムの情報が取れない
- コスト管理・コスト削減が十分に出来ない
- 様々なメーカーの機器を横断的に管理できない
- エラー発生時の原因追究が困難
- 各種機器の稼働状況やマシンスケジュールの管理ができない
- マシンの停止時にオペレータの手作業が介入し、その記録が残らない

など、を解決するだけでなく、個人情報保護法、J-SOX 法など各種法規制準拠したシステム運用等を実現できるのが特徴です。

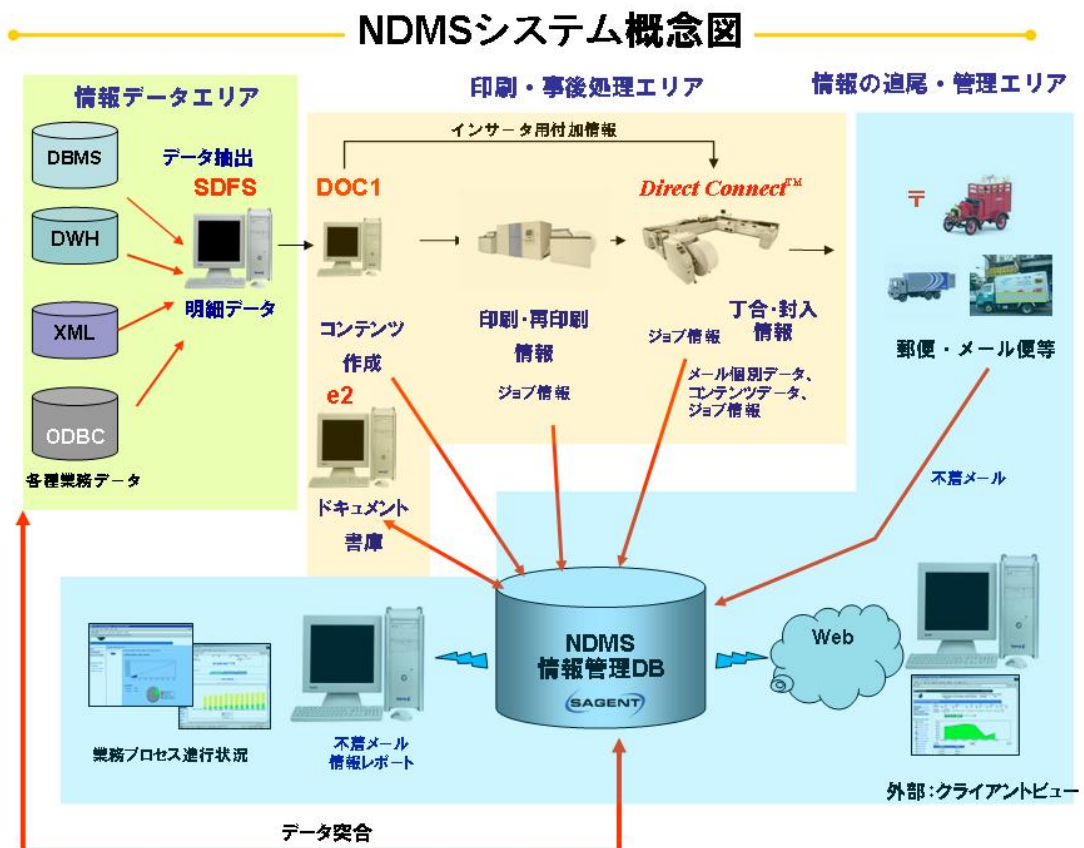
現在のドキュメント発行業務は、発送コンテンツ作成、印刷、コンテンツの封緘、発送とそれぞれのプロセスが独立しており、各プロセスでのセキュリティ、データ保護は行われるものの、全体を一貫して網羅的に各段階の処理を管理する方法がありませんでした。

グループワン ソフトウェアの親会社であるピツニーボウズ社は、郵便業務に関わるハードウェア(郵便料金計、封入・封緘システム等)を製造販売する業界最大手のメーカーで、一昨年からクライアントデータでコントロールされるインサーターシステム「DC File-Based Solution」を販売し業界をリードしています。一方、グループワン ソフトウェアは、企業内に散在するデータを統合・加工・クレンジングし、Webでの解析(OLPT)を可能にするソフトウェア「Sagent Data Flow」と、ワン・ツー・ワンのコンテンツ作成を可能にするソフトウェア「DOC1」、作成されたコンテンツを高度に圧縮し検

索可能なアーカイブ(書庫)を作成するソフトウェア「e2」を販売してきました。

今回発表したソリューションは、ピツニーボウズ社のハードウェア(他社の封入封緘機や事後処理機への対応も可能)と、グループワン ソフトウェア社のソフトウェアを有機的に統合することでエンド・ツー・エンドの一貫処理を可能にしたソリューションです。社内の情報データエリア、印刷・事後処理エリア、情報の追尾・管理エリアをまたいで様々なドキュメント(請求書、資産運用報告書、保険契約書、カード利用明細書等々)の生成、管理、印刷、発送までのサイクルを管理します。

情報データエリアでは、社内業務システムに存在するあらゆるデータ(顧客データ、請求内容等経理データ、購入品目、注文履歴等サービスデータ、与信データ等)を統合・抽出してメール発送データとして作成します。メール発送データの元になるデータソースは問いません。印刷・事後処理エリアでは情報データエリアで生成されたプリンター用データを使用して実際にプリンターで印刷し、封入・封緘機から出されるログデータを取り込み、メール 1 通毎の正当性やその確実性を検証します。情報の追尾・管理エリアにおいて、発送用に封入されたドキュメントは、郵便、宅配メール便等で顧客に発送されますが、地方村統合・合併による市町村名や郵便番号の変更、転居など様々な理由で返送されたメールのレポート、Web による業務プロセスのモニタリング、各機器の運転状況のレポート等システム全般を管理します。



本ソリューションを導入により、ドキュメント発行業務が可視化され、業務の効率が向上し投資回収 (ROI) 期間が短縮されることとなります。

■ 価格と販売時期

「New Document Managing Solution (NDMS)」の基本価格は、Data Flow 使用のみで約 900 万円から。(カスタマイズや構築費用、封入封緘機の費用は別途)

両社での販売開始は、5月21日から。また両社での初年度20社からの受注を目指しており、両社共同の実装デモ&セミナーを5月下旬にピツニーボウズ ジャパン社のショールームにて行う予定です。

ピツニーボウズジャパン株式会社について

ピツニーボウズ社は、1920年の創業以来、優れた技術開発力により世界のメーリング業界をリードし続けてきました。ピツニーボウズジャパン株式会社は日本において、あらゆる規模の企業に対してドキュメントやメール業務に関わる改善や効率化に有効な技術とサービスを提供しております。

ピツニーボウズジャパン株式会社の会社概要・詳細は、以下の Web でご参照下さい。

<<http://www.pbjapan.co.jp/>>、<<http://www.pb.com>>

グループワン ソフトウェア株式会社について

グループワン ソフトウェア社 (www.g1.jp) は、ピツニーボウズ グループのソフトウェア ソリューションを提供する会社です。グループワン ソフトウェア社の顧客コミュニケーション管理 (CCM) ソリューションは、世界 3,000 社を超える企業で利用されています。

グループワン ソフトウェア株式会社の会社概要・詳細は、以下の Web でご参照下さい。

<<http://www.group1.jp/>>

以上

<この件に関するお問い合わせ先>

ピツニーボウズジャパン(株)

DMT 事業部 ビジネス開発部
電話 : 03-5750-4338
Mail:info@pbjapan.co.jp

グループワン ソフトウェア(株)

ビジネス開発部 電話 : 03-5468-6881
Mail:jpsales@g1.com